

令和3年2月1日

## サイバーセキュリティ関連情報（2月号）

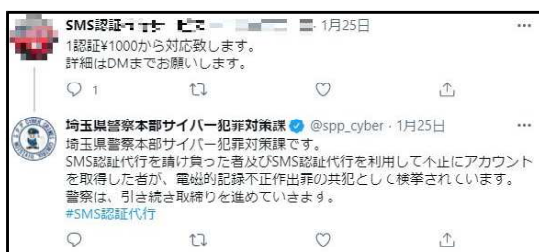
鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課

### ○ SMS認証代行は、違法です！

SMS認証とは、携帯電話やスマートフォンで利用されるSMS(ショートメッセージサービス)を活用した個人認証のシステムのことです。WEBサイトやアプリなどのサービスを利用する際にセキュリティを強化する目的などで利用されています。

サービスにログインする際、携帯電話番号宛てに6桁の認証番号（ワンタイムパスワード）が送信され、端末を所持する本人がこれを入力することで認証を行う仕組みで、認証手段としてメールアドレスを利用する方法よりも強固とされています。SMS認証は、GoogleのAndroid端末（2段階認証プロセス）やAppleのiPhone端末（2ファクタ認証）でも導入されているセキュリティ対策のひとつです。

一方、他人の携帯電話番号を使ってアカウントを作成する行為は、「SMS認証代行」と呼ばれ、近年、これを有料で代行するとするTwitterの投稿が相次いでおり、さらにこれにより取得されたアカウントを悪用した特殊詐欺等の犯罪も発生しています。



埼玉県警察本部サイバー犯罪対策課では、SMS認証代行のTwitter投稿者に対し、認証代行を請け負った者及び認証代行を利用して不正にアカウントを取得した者が電磁的記録不正作出罪として検挙されており、引き続き取締りを進めていく旨の投稿で警告する取り組みを行っています。

SMS認証代行は、携帯電話番号や認証番号等を提供した者だけでなく、これを使ってアカウントを作成した者も違法行為として処罰の対象となります。

安易に他人の認証番号を使ったアカウント作成などを行わないよう注意しましょう。

### ○ 最新ファームウェアでネットワーク機器等の更新を！

大手メーカーが採用するオープンソースのDNS(DomainNameSystem)転送ソフトウェア「Dnsmasq」に複数の重大な脆弱性が見つかったとして、NECやCisco Systems製のWi-Fiルータ製品などを中心に各メーカーがアップデートの提供や利用中止等を呼びかけています。

これらの脆弱性は発見者により「DNSpooq」と呼ばれ、悪用されると許容量を超えたデータを送り付けて誤作動を起こさせる「バッファオーバーフロー攻撃」やDNSのキャッシュ情報を書き換えて偽のサイトに誘導する「キャッシュポイズニング攻撃」などによって、遠隔からのコード実行や情報窃取などの影響を受ける可能性があります。

JPRS（株式会社日本レジストリサービス）では、「Dnsmasq」は、Linux・Android・BSD・macOSなどをサポートしており、利用中のシステムやネットワーク機器への影響について、各開発元が公開する情報を参照し、ファームウェアの更新などの適切な対応を取ることを強く奨励しています。

企業はもちろん、個人でも、サイバー攻撃の被害にあわないために、現在、ご使用中のネットワーク機器等の製品の公式ホームページをご確認の上、バージョンアップ情報に従って最新ファームウェアへの更新しましょう。



参考：JPRS <https://jprs.jp/tech/security/2021-01-25-dnspooq.html>